

日本内視鏡外科学会  
2024（令和6）年度事業報告書  
（2023年10月1日から2024年9月30日まで）

1. 庶務報告

1) 会員数（2024年9月27日時点）

会員数	15,861 名
名誉理事長	3 名
名誉会長	16 名
名誉会員	23 名
特別会員	125 名
評議員	1,237 名
正会員	14,350 名
メディカルスタッフ会員	92 名
学生会員	0 名
賛助会員	15 社

2) 2024年度 役員交代

2024年12月5日 退任

羽瀧友則副理事長、大須賀穰理事、笠間和典理事、中村博亮理事、  
中村雅史理事、山口茂樹理事、田邊稔理事、永安武理事、宮嶋哲理事  
森俊幸監事、山高篤行監事

2024年12月5日 就任

平池修理事、稲木紀幸理事、高野裕一理事、永川裕一理事、  
小濱和貴理事、板野理理事、佐藤寿彦理事、小島祥敬理事  
家入里志理事、中村雅史監事

3) 2024年度 国際名誉会員推戴

Dr. Barlian Sutedia, Indonesia

Prof. Mehmet Mahir Ozman, Turkey

Ms. Gisela Brandsma, the Netherlands

4) 2024年度 特別会員等推戴

名誉会長 1名：黒川良望氏

名誉会員 4名：金山博臣氏、塩田充氏、森俊幸氏、若林剛氏

特別会員 8名：穎川晋氏、片井均氏、金田悟郎氏、白石憲男氏、

杉村好彦氏、早川哲史氏、藤井秀則氏、渡部和巨氏

2. 定款第4条(1) 会員の学術集会、学術講演会等の開催ならびに教育に関する事業

- ・第36回日本内視鏡外科学会総会(JSES2023)が羽渕 友則会長のもとパシフィコ横浜においてハイブリッド方式で開催された。

現地開催期間：2023年12月7日(木)～9日(土)

事後オンデマンド配信期間：2023年12月22日(金)～2024年1月31日(水)

- ・内視鏡下縫合・結紮手技講習会を10回開催した。
- ・JSES手術見学プログラムを7回開催した。
- ・第28回教育セミナーおよび第2回プロクター教育セミナーを開催した。
- ・eラーニングについて、ヘルニア、小児外科領域の新たなコンテンツ、2023年12月の第28回教育セミナー、第1回プロクター教育セミナーの動画を会員専用ページに掲載した。

3. 定款第4条(2) 機関誌及び論文図書等の刊行

- ・日本内視鏡外科学会雑誌(和文誌)

電子ジャーナルとして発刊している。

2023年11月10日発行 28巻6号

2023年12月10日発行 28巻7号 第36回日本内視鏡外科学会プログラム集

2024年1月10日発行 29巻1号

2024年3月10日発行 29巻2号

2024年5月10日発行 29巻3号

2024年7月10日発行 29巻4号

2024年9月10日発行 29巻5号

- ・Asian Journal of Endoscopic Surgery(英文誌)

電子ジャーナルとして発刊し、評議員以上の会員には配本した。

2023年10月発行 16巻4号

2024年1月発行 17巻1号

2024年4月発行 17巻2号

2024年7月発行 17巻3号

4. 定款第4条(3) 内視鏡外科の技術認定制度に関する事業

2022年から2023年において、次の表の通り認定した。

年度	泌尿器科		産科婦人科		整形外科		呼吸器外科		消化器・一般外科		小児外科	
	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新
2023	54	133	58	102	1	2	97	-	272	404	3	11

## 5. 定款第4条(4)内外の関係学術団体との連絡及び提携

- ・アジア内視鏡外科学会(ELSA)主催 ELSA Outreach Program への JSES 会員 派遣事業
  - 2024年1月19~20日ネパール Advance Hernia Surgery Symposium パウデルサシーム氏、柴田淳平氏 参加
  - 2024年5月3~4日ウズベキスタン APHS Hernia Essentials Training Course 亀山哲章氏、雨宮隆介氏 参加
- ・アジア内視鏡外科学会(ELSA)役員
  - 北川雄光理事長と国際委員会 笠間和典委員長が ELSA Governor に就任
  - 梅澤昭子理事が ELSA Adjunctive Governor に就任
- ・IRCAD 台湾-JSES 共同事業:IRCAD 台湾主催トレーニングコースへの JSE 会員 派遣
  - 2024年5月24~26日 Laparoscopic General Surgery for Residents 道傳研太氏 参加
  - 2024年6月21~23日 Intensive Course on Laparoscopic Suturing and Live Animal Workshop 内田雄一郎氏 参加
  - 2024年9月27~29日 Laparoscopic General Surgery for Residents 早川俊輔氏 参加
- ・2024年6月、EAES 2024にて欧州内視鏡外科学会(EAES)とJSESのジョイントシンポジウム”Minimally invasive esophageal surgery: East meets West”を実施した。
- ・2024年4月SAGES 2024にて、米国消化管内視鏡外科学会(SAGES)とJSESのジョイントシンポジウム”Devil is in the Details: MIS Gastrectomy”を実施した。
- ・AIS (Advances in Surgery) 主催のコラボレーション企画(Webセミナー&オンデマンド)配信
  - 2023年11月22日”Improving Oncological Outcomes with Precise Surgery”司会 山口茂樹氏、演者 川村純一郎氏 参加
  - 2024年9月26日”Reducing Complications in Esophagus Surgery”司会 竹内裕也氏、演者 角田茂氏 参加

## 6. 定款第4条(5)内視鏡外科学に関する研究及び調査

- ・2024年度のNCDデータ利用研究として1研究が採択(保留)された。  
研究代表者:波多野 悦朗(京都大学 肝胆膵・移植外科) 採択(保留)  
研究課題名:本邦における腹腔鏡下高難度肝切除の治療成績の検討と標準的手術成績指標(ベンチマークアウトカム)の確立
- ・内視鏡外科手術に関する第17回アンケート調査を行った。
- ・2024年度 大上賞受賞者:永川 裕一氏(東京医科大学 消化器・小児外科学分野)
- ・2024年度 出月賞受賞者:春田 英律氏(四谷メディカルキューブきずの小さな手術センター外科・内視鏡外科)  
[論文名] 正中弓状靭帯圧迫症候群:50症例の患者背景・術式による比較検討  
[掲載号] 日本内視鏡外科学会雑誌第29巻3号 【原著】

- ・2024 年度 松本賞受賞者：恵木 浩之氏（北里大学メディカルセンター 外科）
- ・2024 年度 カールストルツ賞受賞者（第 37 回日本内視鏡外科学会総会）
  - 今村一歩氏（長崎大学病院 移植・消化器外科）  
『膵体尾部癌に対する低侵襲膵体尾部切除術が享受する患者利益とは？』
  - 菅野潔氏（倉敷成人病センター）  
『daVinci SP を用いた自律神経温存深部子宮内膜症切除』
  - 東田正陽氏（川崎医科大学附属病院 消化器外科）  
『正中弓状靭帯圧迫症候群の治療経験と成績について』

#### 7. 定款第 4 条（6）国民に対する内視鏡外科診療に関する情報の提供

- ・National Clinical Database (NCD) に参加しロボット支援手術の症例登録のデータベース事業に協力した。食道・胃・大腸・膵臓の登録データの Audit を行った。
- ・令和 6 年度診療報酬改定に向けて外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加した。
- ・2024 年 9 月に「ロボット支援手術プロクター認定制度規則（消化器・一般外科）」を改定した。
- ・2024 年 5 月に日本小児外科学会、日本肝胆膵外科学会とともに「ロボット支援下総胆管拡張症手術（暫定）プロクター基準」を改定した。
- ・2023 年 11 月に「2023 年版技術認定取得者のための内視鏡外科診療ガイドライン」の電子版を発刊した。

#### 8. 定款第 4 条（7）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・財務の健全化に向けた検討を行った。
- ・事務局員のリモートワークを継続した。